

## EDITOR'S NOTE — 2026年5月

## 「今の自分」を受け止めることから始める

兔原祭では、笑顔で楽しむ13回生の姿を見せてもらいました。あの姿が印象的です。模試が終わったと思ったら自己採点、そして来週からは中間考査と、忙しい日々が続きますが、一つひとつ丁寧に進んでいきましょう。

模試の結果が返ってくると、思ったより取れていた人も、思ったより取れなかった人もいます。どちらの場合でも、大切なのは「結果を見て終わり」にしないことです。「どこが課題か」を確認し、次の一手を考えること——それが模試を受ける意味です。

また今号では、第2回進路希望調査の結果をお伝えします。4月の第1回からどう変化したか。周囲の数字が気になるかもしれませんが、大事なのは「なぜ自分はその大学に行きたいのか」という問いです。数字に流されず、自分の言葉で志望を語れるようになることを目指してください。

## 第2回進路希望調査集計結果

## 13回生の「いま」——第2回進路希望調査（2026年5月実施）

進路希望調査の集計結果は

生徒・保護者向け配信版をご覧ください

## 模試の使い方

## 受けるだけでは半分以下——模試を最大限に活かす4ステップ

模試を受けて、結果を見て、終わり——これでは模試の価値が半分以下になります。模試が持つ本当の力は、「自分の現在地を正確に知り、次の一手を決めること」にあります。受ける前から結果活用まで、4つのステップで考えましょう。

■ マナビジョンを活用しよう 今年度からアカウントが配布されています。【受験前】志望校・目標得点の登録。【受験後】自己採点・WEB解説での復習・成績結果の早期確認・解説動画での重要ポイントのおさらい。まだ設定していない人はぜひログインしてみてください。

## STEP ① 受けるとき

◎○△□で

解答を仕分ける

根拠をもって確信した答えは「◎」、自信はあるが根拠が薄いなら「○」、複数の選択肢で迷ったなら「△」、とりあえずマークしたなら「□」。必ず問題冊子にも記録しておいてください。

## STEP ② 受けた後（当日）

自己採点を

当日中に

問題冊子に解答を書き写しておき、すぐに自己採点を完了させてください。共通テスト本番では自己採点の正確さが出願判定に直結します。今から習慣にしておきましょう。

## STEP ③ 結果が返ってきたら

数字より

「内訳」を見る

「△□で正解した問題」＝偶然正解・不安正解。点数が良くても「□だらけの正解」では不安定な土台の上で立っているに過ぎません。内訳の中に、自分の課題が隠れています。

## STEP ④ 次の一手

「偶然正解」を

「理解正解」に

「△□の正解」を「◎（理解正解）」に変えていくことが、本当の実力向上につながります。そのための学習計画を立て、次の模試までに行ってみてください。

## ⇒ 13回生の声——模試振り返りより



13回生 第1回共通テスト模試 振り返りより (傾向集計)

最も多く挙げたのは「時間配分」でした。次いで「英語」「マークミス」「数学」「集中力」と続きます。

英語は苦手というより「前半で時間を使いすぎて後半が足りなくなる」パターンが多く見られました。次回の模試では、各科目の時間配分を事前に決めてから臨むことを意識してみてください。

## ⇒ 春学期中間考査 (6/1～5) に向けて

## 模試から考査へ——今すべきことを明確に

模試が終わり、次のターゲットは春学期中間考査 (6月1日～5日) です。模試と考査は別物ですが、「課題の認識→学習計画の修正」という流れは同じです。

模試で「ここが弱い」と気づいた科目を、考査前にどう補強するか。漠然と問題を解くだけでなく、課題を言語化して計画を立てることが大切です。自分の課題を認識できないと、目標設定も計画も雑になってしまいます。模試・考査・小テスト——あらゆる場面から自分の課題を認識することが、実力向上への第一歩です。

今年度の学習を8つのフェーズで捉えておくと、自分の現在地が分かりやすくなります。今はちょうど①の時期です。

① 5月末	②	③ 夏	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5～6月 模試～ 中間考査	6～7月 考査後～ 夏季休業	7～8月 夏季休業 7/18～8/25	9～10月 期末考査～ 春学期終業	10月 探究週間～ 第2回模試	10～12月 第2回模試～ 中間考査	12～1月 中間考査～ 共通テスト	1～3月 共通テスト後～ 個別学力検査
課題を 言語化する	基礎を 固める	★最大の チャンス	定着を 確認する	弱点を 集中攻略	仕上げへ シフト	本番モードへ 切り替える	二次試験に 集中する

## ☐ 外部模試の案内

## 外部模試の受け方——目的を持って受験する

学校で実施する共通テスト模試のほかに、河合塾・駿台・代々木ゼミナールなどの外部模試があります。受験するかどうかは自分で判断してください。申し込みはオンラインで行います。詳細日程・会場・申し込み方法は随時HRやClassroomで案内します。ただし、次の点を必ず考えてから申し込みましょう。

## ① なぜ受けるのか

「何のために受けるのか」を明確にしてから申し込みましょう。今回の模試で慣れていなかった点——時間配分、マーク方法、問題形式など——を振り返り、次回の模試ではそこを意識して受けることが大切です。

## ② 学習計画に位置づけているか

模試は時間だけでなく体力も消耗します。「いつ受けて、受けた後に何をするか」まで決めてからが本当のスタートです。前後の学習計画も含めて組み込んでおかないと、スケジュールが崩れるだけになってしまいます。

## ③ 受験後に活用できるか

点数を確認して終わりにしないことが大切です。「なぜ間違えたか」「次はどう対処するか」まで考えて初めて模試が活きます。自己採点・課題分析・次の計画を「1セット」で考えてください。

「目的を決めてから申し込む」「受けた後に活用する」——この2つが外部模試を効果的に使う条件です。受けっぱなしが積み重なると学習の質が下がります。塾で模試が多い場合は特に注意しましょう。

## ■ FOR PARENTS — 保護者の皆様へ

## 6年生の保護者として——模試と三者面談

## — 模試の結果が返ってきたら

点数の高低より「どこが課題か」に注目してください。「なぜこの問題が解けなかったのか」を一緒に考えるきっかけにいただけると、お子さんが次の一步を踏み出しやすくなります。

## — 三者面談 (7/21～24) の準備を

夏前の三者面談では、第1志望の確認と夏の学習計画が主なテーマになります。保護者の方には、お子さんが「なぜその大学・学部を目指したいのか」を家庭でも話し合っておいていただくと、面談がより実りあるものになります。

## — 普段通りの日常を守ることが、今月最大のサポートです

兔原祭・模試・部活の大会と、慌ただしい日々が続いています。特に運動部の生徒は体力的にも精神的にも消耗しているかもしれません。食事・睡眠・生活リズムを普段通りに守ること——それが今月、保護者の皆さまに一番お願いしたいことです。

## ☞ NOTICE

HP掲載 本通信は学校HPの進路課ページにも掲載しています。